

# 「夢と感動の

# テーマシティ「まちなみやわ」の実現を目指して

## 第6次長期総合計画がスタートします

荏崎市はこれまで、平成13年3月に策定した「荏崎市第5次長期総合計画」に基づいたまちづくりを進めてきました。この計画は、目標年次を平成22年度として各種施策や事業を展開してきましたが、少子高齢化や総人口の減少、高度情報化の進展、地域の安心・安全や環境保全の意識の高まりなど市民ニーズの多様化や地方分権の進展など社会構造の急速な転換へ対応するため、現計画の各施策・事業を踏まえるなかで新しい視点からこれを見直し、平成21年度（2009年度）からの10年間にわたる新たなまちづくりの計画「荏崎市第6次長期総合計画」を市民の皆様の協力を得て策定作業を進めてきました。

本計画は、荏崎市の現状と新しい時代への課題を認識しつつ、市民と行政が協働してこれからの時代を切り開く「まちづくりのガイドライン」としての性格を持つもので、昨年12月の定例会議において議決されましたので、その概要についてお知らせします。

### 〈総合計画の役割とは〉

- 市行政においては、まちづくりの推進と運営の基本指針となります。
- 市民や民間企業等においては、まちづくり活動を実践する上で共有する指針となるとともに、事業展開等において配慮すべき指針となります。
- 国・県等に対しては、本市に関する国・県の計画や事業を実施するにあたって、まちづくりの指針として示します。

### 概要版を全戸に配布

第6次長期総合計画の概要版を広報4月号と一緒に全戸配布します。また、3月下旬より計画書を市ホームページ及び市役所1階情報公開コーナーで公表します。ぜひ、ご覧ください。

#### ■お問い合わせ

企画財政課企画推進担当（内線355）

■市のホームページ <http://www.city.nirasaki.lg.jp/documents/keikaku.pdf>

## 〈計画のしくみ〉

「韮崎市第6次長期総合計画」は、大きく「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されます。

### 【基本構想】

基本構想は、時代の潮流や市の課題を踏まえた将来像を描き、人口などの指標や土地利用の方針を定めるとともに、まちづくりの基本方向(施策の大綱)を明らかにするものです。

### 【基本計画】

基本計画は、基本構想で定めた将来像とまちづくりの方向を受けて、その実現に必要な基本的な施策を分野別に体系化、具体化し、内容を明らかにするものです。

また、中間年次でさまざまな環境変化等を踏まえ、弾力的な見直しを加え、後期基本計画の策定を予定します。

### 【実施計画】

実施計画は、基本計画で体系化した施策を具体的な事業として示すもので、それぞれの優先度や実効性を配慮し、実施年度、事業量、財源内訳などを明らかにします。計画期間は3か年とし、まちづくりの動向に対応して年度毎にローリングすること、実効性の確保に努めます。



## 新しいまちづくりの 課題と将来像

時代の潮流や本市の特性、アンケート・審議会などによる市民の皆さんの意向を整理し、「少子高齢化への対応」「人口減少社会への対応」「まちなかの活性化」「安全・安心な生活の確保」「豊かで多様な美しい自然環境の保全」「市民との協働によるまちづくりの推進」を新しいまちづくりに求められる主要な課題として捉え、

- 1 豊かな自然と歴史を愛し、美しい心と強い絆のまちづくり
- 2 夢と感動を共有し、多様な価値観に対応できるまちづくり
- 3 市民が協働し、新しい創造力を備えた人が集まる賑わいのある豊かなまちづくり

を基本理念に「夢と感動のテーマシティにらさき」を将来像として、地域に住む人が子どもから高齢者まで夢を持ちつづけ、その実現により感動することができるまち、そしてまちを訪れた人もさまざまな魅力にふれ、感動することができるまちを目指します。そして、これらの魅力がたくさん詰め込まれた韮崎市そのものが、テーマシティとして、未来にわたって美しく、喜びや楽しみ、感動を与えることができるまちとして発展していくことを物語にたとえ、計画の推進テーマを「美しく、人・地域が輝く 未来へのものがたり」と設定しました。実現にあたっては市民と行政の協働のもと、市民が主体となったまちづくりを進めていきます。

## 計画の体系図

### 基本理念

豊かな自然と歴史を愛し、美しい心と強い絆のまちづくり

夢と感動を共有し、多様な価値観に対応できるまちづくり

市民が協働し、新しい創造力を備えた人が集まる賑わいのある豊かなまちづくり

### 将来像と計画の推進テーマ

美しく、人・地域が輝く 未来へのものがたり  
「夢と感動のテーマシティにらさき」

### まちづくりの基本方向(施策の大綱)

将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

誰もが安心して暮らせるまちづくり

心地よい定住環境のあるまちづくり

魅力あふれるまちづくり

人が集う交流のあるまちづくり

健全な行政活動によるまちづくり

# 実現に向けた6つの施策の柱

## 1 将来を担う子どもを のびのび育て まちづくり

(1) 子どもを安心して生み、  
育てられる社会の実現



本市では、これまで子育て支援の取り組みに力を注いでおり、子どもを持つ世代が住みやすい、住んでみたいと思えるまちづくりが進められてきました。今後は、妊娠から出産、育児、子育てと、子どもを安心して生み、育てられる環境について、より一層の充実を図ります。また、まちの将来を担う子



どもたちの成長を促進するため、保育サービス等を充実する一方で、子育てに関する不安の解消のための取り組みや子育てと仕事を両立できる環境づくりを推進します。

(2) 子どもが夢を持ち続ける  
ことができる教育の充実

本市では、学校の施設整備など、子どもたちが学習しやすい環境の充実が図られてきました。今後は、子どもたちが、心身ともにたくましく成長し、蕪崎市に誇りを持つことができるよう、まちの歴史や文化にふれる学習や環境学習、さまざまな体験学習や食育の取り組みなど、地域に密着した、特色のある教育を推進するとともに、家庭・学校・地域が一体となった教育体制の整備を推進します。

2 誰もが安心して  
暮らせるまちづくり

(1) 健康な暮らしを守る  
保健・医療の充実

市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、健康な心と身体づく



りに取り組むことができるよう、地域に根ざした各種健(検)診事業、保健事業の充実を図ります。また、健全な食生活の実現、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関するさまざまな学習機会の提供など、食育の取り組みを推進します。多様な高度化する市民の医療ニーズに対応できるよう、保健・福祉も含めた関係機関や広域的な連携を強化し、各種医療費制度や地域医療体制の充実を図ります。

(2) 地域の絆を深める  
福祉社会の実現

高齢者が住み慣れた地域で健康で安心していきいきと暮らすことができるよう、介護予防や介護サービスの充実を進めるとともに、高齡者が住み慣れた地域で健康で安心していきいきと暮らすことが培ってきた知識や経験・技能を活かすことができる機会の創出に努めます。また、障がい者の自立と社会参加を促進するため、福祉サービスの充実にも努めるとともに、交流事業による理解の促進や雇用・就業による地域生活への移行を促進します。社会参加への意識が低下しつつある中、市民が主体となっ



て地域の支え合い、助け合いが行われるような地域の絆づくりを図ります。

(3) 安全・安心に生活できる  
地域体制の構築

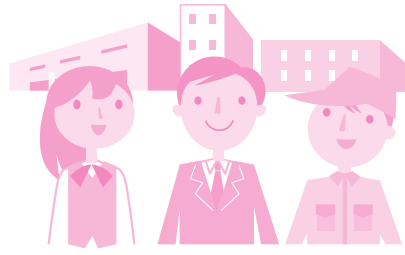
地震や台風などの自然災害に対し、安全・安心な暮らしを保障するため、防災・消防・救急体制の整備や治山・治水事業、防犯・交通安全対策など、市民・関係機関・行政が体となって地域を守る体制の整備を図るとともに、市民一人ひとりの防災・防犯・交通安全などに対する意識の高揚に努めます。

(4) 安心して頼れる  
社会保障システムの充実

市民の誰もが安心して生活するための基盤となる社会保障システムについて、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度等、市民に対する制度の理解の促進と適正な運営に努めます。また、生活保護については、必要とする人の生活を保障するとともに、自立を側面から支援し、公平・公正な運営に努めます。

(5) 暮らしを支える  
雇用の場の確保

地域経済の活性化や若者の定住促進を図るため、地域の資源を活かした産業の育成と起業を支援するとともに、新たな雇用機会創出に向けた、企業誘致等を推進します。また、職業能力の開発や若年者、高齢者、女性、障がい者等の就業の促進、仕事と家庭の両立支援をはじめ、多様な働き方が可能となる環境づくりに努めます。



3 心地よい定住環境の  
あるまちづくり

- (1) 自然を活かし、  
自然にやさしい  
まちづくりの推進

本市の豊かな自然環境の保全・活用を推進し、自然と共生するま



(2) 快適に暮らすための  
生活環境の充実

市民や訪れた人が潤いを感じ、さまざまな交流の機会を生み出すことができるよう、自然や田園、公園・緑地など環境や景観に配慮した空間づくりを目指すとともに、活力あるまちを創造するため、中心市街地・商店街の活性化を推進

します。また、安全な水を安定して供給する上水道、河川や農業用水の水質保全を図るための下水道など、地域の実情に応じた整備を計画的に進めるとともに、情報通信基盤や住宅環境などの生活基盤の整備に努めます。

(3) 便利な生活のための  
都市基盤の整備

地域の健全な発展と秩序ある整備、美しい景観や快適な生活環境の保全を図るため、市街地、住宅地、農山村などそれぞれの魅力を活かした計画的な土地利用を進めます。また、生活の利便性向上や産業の振興などを図るため、広域交通を支える高速道路、地域間を結ぶ幹線道路、地域の生活道路の整備を促進します。通学・通勤圏の拡大や観光振興、高齢者



等の移動の支援を図るため、公共交通機関の利便性向上を推進します。

4 魅力あふれる  
まちづくり

(1) 環境と調和した  
農林業の振興

農林業の振興を図るため、高付加価値農産物の生産やブランド化を支援するとともに、生産基盤整備や営農支援体制の整備を推進し、農林業経営の強化に努めます。また、耕作放棄地の解消や農林業従事者の後継者確保、新規就農者への支援等、農林業の振興に努めます。

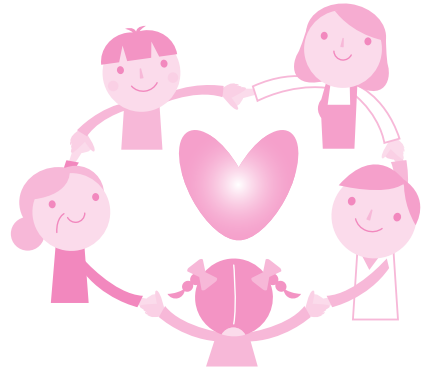
(2) まちの賑わいをつくりだす  
商工業の振興

市民への豊かな消費生活の提供と地域の活気を生み出す商業を展開するため、関係機関と連携し、地域の消費者ニーズを捉えた商業展開を支援します。また、蕪崎駅前の新たな拠点の創出や「武田の里」にらさきの新しいイメージづくりによる賑わいの創出に努めます。工業については、県内でも有数の産業都市として、先端工業の展開をさらに促進するための企業誘致等に努めます。



**(3) 訪れる人に感動を  
与える観光業の振興**

本市の持つ豊かな自然、歴史・文化等を活かした多様な観光資源を活用した観光振興のため、それぞれの観光資源を結びつけることで魅力を向上させ、訪れる人に感動を与えることができるよう、観光ルートの開発や情報発信に努めます。また、より広域な観光ルートを形成するため周辺市町との連携を推進します。



**(4) いつまでも生きがい  
を持って暮らせるまちづくり**



市民が生涯にわたって生きがいのある充実した生活を送るために多様な学習機会を提供すると

もに、各種施設の機能拡充を進め、生涯学習環境の充実に努めます。また、誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、生涯にわたるスポーツ活動の振興のため、指導者の育成や各種施設の整備充実を推進します。

**(5) 次代へつなぐ  
歴史・文化の醸成**

市民が主体となって韮崎市が育んできた歴史・文化を継承し、守っていくことができるよう、それらの活動を支援するとともに、史跡・遺跡・文化財などを次代に伝えるために保存、活用に努めます。

**5 人が集う交流のある  
まちづくり**

**(1) 市民と行政の  
協働によるまちづくり**

市民の誰もがまちづくりの主役になれるよう、情報の共有やまちづくり団体の育成・支援など、住民と行政が一体となったまちづくりを行う体制の整備を推進します。また、男女がお互いの人格を尊重し、女性が社会のあらゆる分野において社会参画できる環境づくりを進めます。

**(2) ささまざまな交流の充実**

子どもから高齢者まで、世代や男女を問わず、地域の誰もがふれあい、支え合い、助け合うまちとなるよう、さまざまな交流施策を推進するとともに、地域コミュニティ活動を支援します。また、国際化時代への認識を高め、国際感覚豊かな人材の育成を図るため、姉妹都市・友好都市との交流を軸に、教育や文化、スポーツ、さらには経済など、より幅広い分野での交流



**6 健全な行政活動に  
よるまちづくり**

**(1) 効率的・効果的な  
行財政運営**

多様化する行政課題や地方分権の動向に迅速に対応する行政運営を進めるとともに、柔軟で計画的な財政運営に努め、効率的・効果的な行財政運営を推進します。

を推進し、市民主体の交流に発展するよう支援に努めます。



●フェアフィールド  
・サンフランシスコ  
ラスベガス  
ロサンゼルス

## 姉妹都市

# フェアフィールドでの留学体験記Ⅱ

蕪崎市の姉妹都市フェアフィールド市へ「姉妹都市中学・高校生派遣事業」の交換留学生として参加した生徒たちが、外国でのホームステイ体験等を通じ学んだことなどについて紹介する第2弾です。

## ホームステイに参加して

甲陵高校 堀内 一生

この交換留学を通して海外に対する関心が、何倍にもなりました。初めはただ単に、この機会を利用して英語力をつけてネイティブと少しでも話せるようになっていこうと思っていました。でも実際に行ってみると、もっと大切なことをたくさん学べたような気がします。初めての未知の世界で五感をフル活用して……この目で見たアメリカの街並みや人々、お店や人の匂い、甘すぎるアイスクリーム（決して嫌いじゃなかったです）、人の手の加えられていない大自然などなど。どれもこれも自分にとって新しく、とても感動しました。ホストファミリーとの生活では、楽器演奏や映画鑑賞などを楽しみました。映画もおもしろく、トランプやフルートなどの楽器をそれぞれが持っていて、うらやましく思いました。食べ物もタコス・ハンバーガーなど好きなものを食べられました。嫌いなものは伝えておいたので無理に食べなくても済みました。

フェアフィールドでお世話になった方々、ホストファミリー、そして一緒に行動した仲間にとっても感謝しています。



## 最高の思い出

蕪崎東中学校 池上 加菜

私はこの旅で最高の思い出をたくさん作ることができました。ハブニングもあつたし、カルチャーショックも受けましたが、これがあつたからこそ多くのことを学ぶことができたと思います。カルチャーショックは「言語の壁」です。初めから分かってはいましたが、言わなければ伝わらないし、言っても発音が悪いと違う意味にとられてしまいました。会話をしなければ「コミュニケーション」とれないので、「言語の壁」を乗り越えることはとてもむずかしいと思っていました。相手の話を聞いても分からない単語があつたり、発音を聞きがちがえて失敗したこともありました。私は自分の能力の足りなさを感じました。書いたり文を考えたたりはできるのに、実際に話すには勇気がいるのです。これは避けて通れないことなので、もっと勉強していきたいと思いました。

そしてこの旅での最高の思い出は、最高の仲間と最高の友情をはぐくみ、最高の思い出を作ることができたということです。この仲間がいなければ、私はこんなすばらしい経験はできなかったと思つし、違う言語で違う文化の、知らない人たちがばかりの異国の地でこんなに楽しむことはできなかつたと思います。仲間のおかげです。みなさん本当にありがとうございました。

## 「フェアフィールドへのホームステイ」

蕪崎東中学校 岩下 明日香

私が感じたアメリカと日本の大きな違いは、アメリカ人はとてもフレンドリーで、初めて会った人でも一回話すと前からの友達みたいになってしまうところです。これは知識として知っていたけど、実際に行ってみて改めて実感しました。そして生活に宗教がとけこんでいて、週に2時間くらい教会でお祈りするなど、宗教に対する姿勢が違つていました。ホストファミリーと行った教会の中はとても静かで、来ている人はみんなお祈りをしていました。キリストの像がたくさんおいてあって印象的でした。3日目はジェリーベリー（ジェリーベーンズ）の工場見学に行きましたが、日本では全然食べたことが無かつたので、工場のなかも新鮮に思えました。

ホストファミリーはとてもやさしく、私が言葉がわからないときはわかるまでゆつくり教えてくれました。クリスマスパーティーでは親戚の人たちと会つて話したり、日本から持参した餅を使って簡単な日本食を作つたりしました。とても喜んで食べてくれて嬉しかったです。

このホームステイでもとても貴重な経験をすることができました。フェアフィールドで出会った人たちはやさしく、親しくなれて嬉しく思いましたが、親しくなつた分別れがとてつらかつたです。